

平成23年6月22日

報道関係各位

東京建物株式会社

「Brillia センター南」第1期即日登録完売

平均専有面積 85 ㎡超の「ゆとり」ある間取り、
港北ニュータウンの分譲マンション初(※1)・太陽光発電など環境に配慮したエコ仕様、
新「Brillia 防災対策ガイドライン」を適用した防災対策に高評価

東京建物株式会社(本社：東京都中央区、社長：畑中 誠)は、港北ニュータウンの「センター南」駅徒歩4分の地にて建設中の新規分譲マンション「Brillia センター南」(地上10階建、住宅総戸数40戸、店舗1区画)について、第1期35戸の登録申込(6月11日～19日)、抽選(6月20日)を行なった結果、登録申込件数48件、最高3倍、平均1.37倍にて即日登録完売となりましたのでお知らせ致します。

登録者の主な属性(ボリュームゾーン)は、年齢は30歳～40歳台が全体の約74%(50歳台～約16%)、家族数は2、3人家族が全体の約76%(4人以上約24%)、職業・勤務地は会社員・公務員を中心(約84%)に、都内勤務約59%、横浜市内約35%となっています。

本マンションは、東日本大震災後となる本年4月のモデルルームオープン以降、約850件の問合せ、約300組のお客様に会場いただき、第1期は最多販売価格帯5,500万円台(最高販売価格7,890万円)にて販売致しました。

駅徒歩4分フラットアプローチの好立地、平均専有面積85㎡超(最大専有面積100.37㎡)の「ゆとり」ある間取り、ディスポーザーなどの高機能設備、太陽光発電など環境に配慮したエコ仕様、Brillia 防災対策ガイドラインに基づいた防災対策がお客様から高く評価されています。

特に防災対策については、建物の耐震性のほか、避難場所や日ごろから備えておく品々など、災害発生時の対応方法に関する関心が集まっています。本マンションでも、阪神大震災の被災経験を元に作成した当社オリジナルの防災リュック・震災マニュアル、防災備品、防災説明会などがお客様に評価されました。

【外観イメージ】



<新「Brillia 防災対策ガイドライン・トリプルセーフティ」について >

当社では、Brillia のブランドアイデンティティ「洗練された住まい」・「住んでからの安心」を実現する為、平成18年より当社オリジナルの防災対策を導入し、防災備品や緊急地震速報の配信システムを Brillia 全戸に設置するなど、積極的に防災・減災対策を行っています。

平成22年9月には、Brillia の防災対策の指針となる「Brillia 防災対策ガイドライン」を改訂し、首都圏の Brillia シリーズから新たに導入を進めてまいりました。

本ガイドラインは、「～そなえる～平常時の安全対策」、災害発生時における「～まもる～耐震・減災対策」、災害発生後における「～たすけあう～避難共助対策」の各フェーズにおける対策を「トリプルセーフティ」と位置づけ、風水害、火災、特に地震を想定した対策を講じるよう規定しています。

<新「Brillia 防災対策ガイドライン・トリプルセーフティ」の詳細>

1. 「～そなえる～平常時の安全対策」

■各物件オリジナルの防災マニュアル

それぞれのマンションの災害想定に基づいた防災の心得や避難方法、災害時の対処法などを詳しく紹介した防災マニュアル（各住戸）

防災マニュアル



■各物件個別の防災説明会

入居者を対象に、「防災マニュアル」、「防災設備の使用方法」などを説明する防災説明会（入居時期に合わせて実施）

2. 災害発生時における「～まもる～耐震・減災対策」

■緊急地震速報システム

大きな揺れ(S波)の到達前に安全確保等の対応が可能となる緊急地震速報システム（各住戸）

■家具転倒防止対策

- ・家具転倒防止用下地（キッチンの食器棚置き場等）
- ・夜間の被災を想定した足元保安灯。停電時には懐中電灯の機能を装備（住戸内廊下）
- ・耐震ラッチ（キッチン吊戸棚の扉等）

■エレベーターの自動着床

エレベーター運転時に強い地震を感知した場合、最寄り階に停止させて扉を開く自動着床機能

■耐震仕様の玄関扉

各住戸の玄関扉は地震など、外からの圧力によって扉枠全体が変形しても、扉の開閉が可能

3. 災害発生後における「～たすけあう～避難共助対策」

■阪神大震災の経験から生まれた Brillia オリジナル防災リュック

懐中電灯、携帯ラジオ、携帯電話の充電器、軍手、簡易トイレなどを納めたリュックサック（各住戸）

※リュックサックは、災害時の路上へのガラス等の飛散を考慮し、子ども・高齢者・負傷者など、体力に不安のある方が、イスにより安全に休憩が取れる設えとしている点が特徴。

■防災備蓄倉庫

万が一の大災害に備え、浄水装置、発電機、ハロゲン投光機セット、折りたたみ式担架、マンホールトイレなどの防災用品や備蓄用品保管用の倉庫（共用部）

※防災用品は、雨水再利用ポットや防火水槽といったマンションならではの水のストックを活用した、公共インフラ停止時の「生活用水」と「トイレ」の確保というソリューションを提案している点が特徴。

防災リュック



防災備蓄倉庫の備品例



※本ガイドラインを導入している販売中の物件（平成23年6月20日現在）

Brillia 浜田山、Brillia 辰巳、Brillia 大井町、Brillia センター南、Brillia 月島、
Brillia 成増 The Hilltop、Brillia 成増ステーションフロント

以 上

<添付資料>

○「Brillia センター南」の特徴 ○物件概要 ○位置図

<添付資料>

【「Brillia センター南」の特徴】

1. 港北ニュータウンの「センター南」駅までフラットアプローチの徒歩4分

2. 太陽光発電、LED照明、壁面緑化など環境に配慮した施策

- 港北ニュータウンの分譲マンション初(※1) 太陽光発電を採用
 - ・屋上に太陽光パネルを設置し、太陽光エネルギーを共用部照明等の電力として活用
- 外壁の一部に壁面緑化を実施
- 専有部・共用部の照明にLED照明を採用（一部除外）
- 住宅版エコポイント(※2)対象基準に適合
- 給湯器リモコンはエネルックリモコン

3. 平均専有面積85㎡超の永住型プラン

- 永住ニーズに応える71.30㎡～100.37㎡(3LDK～4LDK)の5タイプ23バリエーション
- 間取りから設備・仕様まで住もう方の思いを形にするオリジナルプランオーダーシステムを全戸に採用

4. 安全・安心な住まいをサポートする防災施策や快適性を増す設備・サービスの導入

- 地震等の災害に備えた防災施策
 - ・緊急地震速報サービス、家具転倒防止下地(和室を含むセレクトプランを選択時に和室壁面へ設置)、阪神大震災の経験から生まれた当社オリジナルの防災マニュアル・防災リュックを設置
 - ・共用部に、防災備蓄倉庫、AEDを設置
 - ・入居後には、入居者を対象として防災設備の使用方法や防災マニュアルの説明会を実施
- 先進の高機能設備機器やトリプルセキュリティの導入
 - ・ミストサウナ機能付の浴室、デイスパーザー、食器洗い乾燥機、カップボードを標準設置
 - ・1階のオートロックドア、エレベーター、住戸玄関ドアなどによる3段階でのトリプルセキュリティ体制を整備

※1：平成12年1月以降、港北ニュータウン内（横浜市営地下鉄ブルーライン「中川」駅から「仲町台」駅、また横浜市営地下鉄グリーンライン「東山田」駅から「都筑ふれあいの丘」駅までの範囲）で販売された民間分譲マンションのうち、初となります。（2011年1月MRC調べ）

※2：住宅版エコポイントの申請期限は平成24年12月31日ですが、申請期限前でもエコポイント発行が終了となる場合があります

【「Brillia センター南」物件概要】

事業主：東京建物株式会社
 所在地：横浜市都筑区茅ヶ崎中央8番9、10（地番）
 交通：横浜市営地下鉄ブルーライン・グリーンライン「センター南」駅徒歩4分
 敷地面積：754.62㎡
 構造規模：鉄筋コンクリート造地上10階建
 総戸数：40戸、他店舗1区画（第1期販売戸数：35戸）
 専有面積：71.40㎡～100.37㎡（トランクルーム面積0.42㎡～0.60㎡含む）
 間取り：3LDK～4LDK
 販売価格：第1期4,610万円～7,890万円（第1期最多販売価格帯：5,500万円台（4戸））
 駐車場：31台
 竣工・入居：平成24年7月下旬予定
 施工：大末建設株式会社 東京マンション事業部
 設計・監理：大末建設株式会社 一級建築士事務所
 デザイン監修：株式会社入江三宅設計事務所
 管理会社：株式会社東京建物アメニティサポート
 販売代理：東京建物不動産販売株式会社
 問合せ先：0120-633-040（「Brillia センター南」マンションギャラリー）
 ホームページ：<http://www.c-minami.jp>

【「Brillia センター南」位置図】

